

**公明党 井上 賢一**

問 高齢社会を迎え、全国の自治体はさまざまな健康づくり事業に取り組んでいる。兵庫県豊岡市では、市主催の健康事業や介護予防事業に参

加すると、ポイントが付与され、小中学校への寄付や施設利用券への交換ができる、健康ポイント制度を始めた。特に、地域の子どもや孫のためにポイントを利用できることが、高齢者の参加意欲を高め

ている。本市が行っている健康推進事業とポイント制度を組み合わせて、より一層市民の健康を増進し、医療費削減も期待できると思うが、制度の導入を考えたか。

答 本市では、健康で生き生きとした生活を送れるように、各地域の健康あやせ普及員による健康ウォーキングを始め、各種施策や事業を実施している。そのような中、健康ポイント制度は、市民が自主的に健康づくりへ参加して

いただく点で独特な手法であると考え、健康づくりの取り組みを充実する視点から、すでにポイント制度を実施している自治体の事業内容を分析するとともに、県域の健康づくり協議会で情報交換をしていきたい。さらに、先進的な事業を注視しながら、市民の健康づくりを推進したい。(ほかに「防災・減災対策について」「脳脊髄液減少症について」「行革・協働について」を質問)

**改革フォーラム 安藤多恵子**

問 大津市のいじめ問題は、全国的にも大きく取り上げられ、教育委員会や学校の対応に注目が集まる中、その隠蔽体質に、批判の声が上がった。本市では、この問題を

どのようにとらえ、対応したのか。また、学校裏サイトをいじめとする、インターネット上でのいじめは、目に付きにくいだけに深刻な問題である。対策には、子ども自身が善悪を判断できる力を養う、リテラシー教育が重要だと思

エックリストを保護者に配付した。本市では、既に全小中学校で情報モラル指導カリキュラムを作成し、成長に合わせたリテラシー教育を進めているが、ネットパトロールは実施していない。今後の状況によっては、取り組むべき課題であると考えている。(ほかに「生きがい芸術大会について」「公園をより魅力的にするために」を質問)



市の鳥「かわせみ」

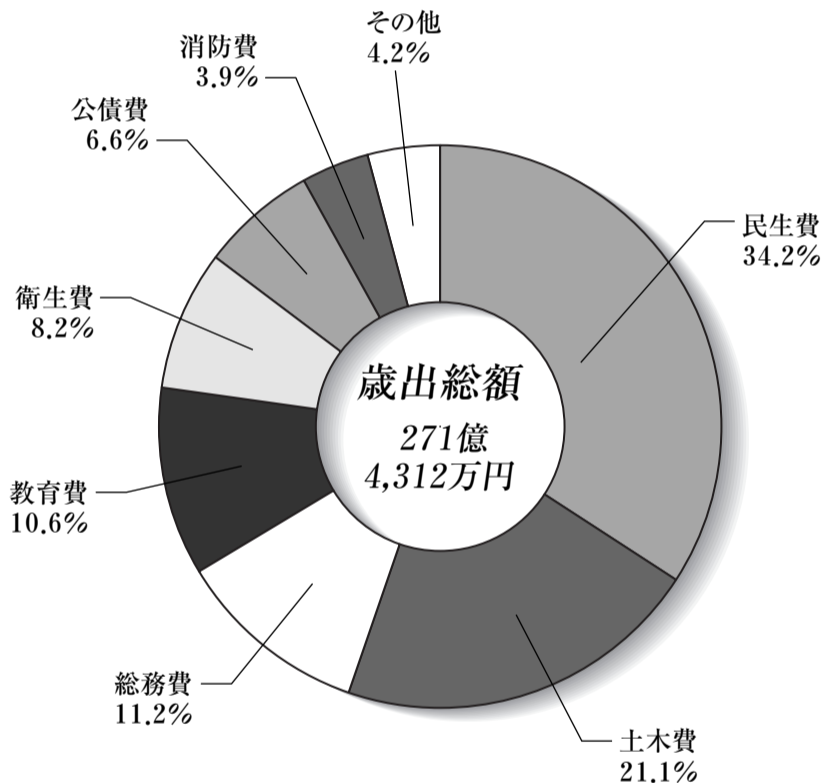
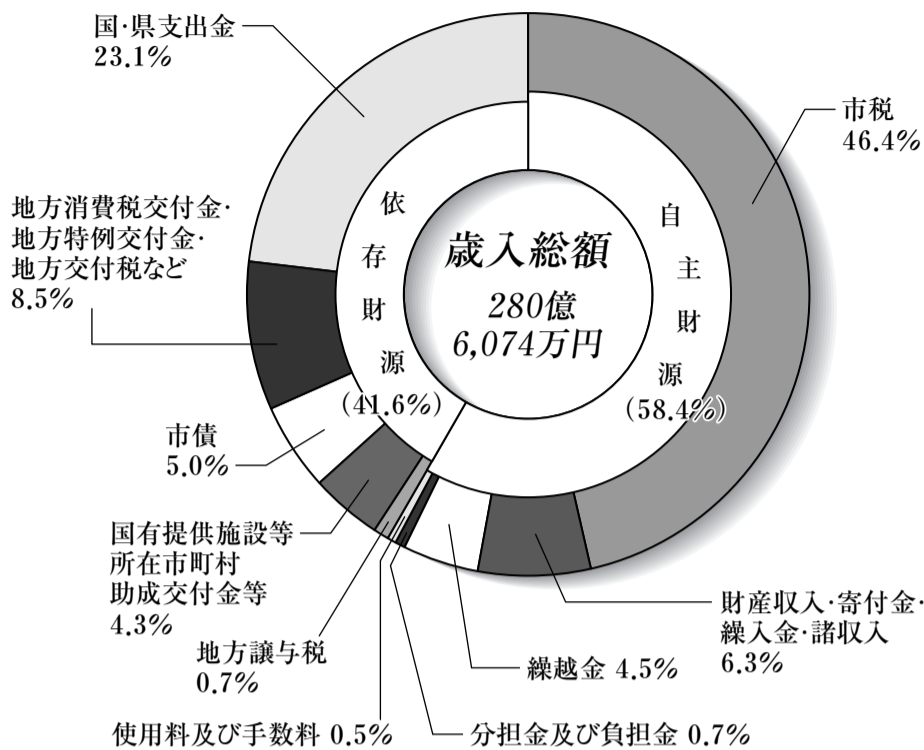
## 市民の健康をより一層増進するポイント制度の導入を

# 市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。9月定例会では、9月20日・21日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。

## いじめ問題をどうとらえ新たな課題へ対応していくか

### 一般会計決算歳入・歳出の状況



### 平成23年度各会計の決算規模

会計名	歳出決算額	昨年との比較		
		増減	伸率	
一般会計	271億4,312万円	12億2,362万円	4.7%	
特別会計	国民健康保険事業	92億4,077万円	3億8,657万円	4.4%
	下水道事業	27億7,304万円	△2億7,820万円	△9.1%
	深谷中央特定土地地区画整理事業	8億3,165万円	3,166万円	4.0%
	介護保険事業	30億5,705万円	2億1,527万円	7.6%
	後期高齢者医療事業	5億6,787万円	2,758万円	5.1%
	計	164億7,038万円	3億8,288万円	2.4%
合計	436億1,350万円	16億650万円	3.8%	